

Research : 各種調査等による実態

〔学校の実態〕  
 ・6学級  
 生徒数162名  
 ・不登校支援拠点校  
 ・教員 13名  
 主幹(4) 主任(6)  
 教諭(4)

〔生徒の実態〕  
 (省略)

〔保護者・地域の実態〕  
 ・PTAや住区の特徴  
 コミュニティ・スクールを通じた地域連携  
 英語検定の補助、生徒の学習意欲の向上  
 教育資源の活用

〔45分学習について〕  
 1単位時間5分間の縮減による45分授業の実施  
 → 授業の工夫  
 各教科部にて検討導入の工夫  
 ICT機器の活用など

校長の経営方針

■基本方針  
 文部科学省研究開発学校の開発課題を受け、全ての子どもたちの可能性を引き出す個別最適な学びと、協働的な学びの実現を図るため、一人一人の自己調整力を高める取組を一層重視した場合の弾力的な教育課程の編成・実施のあり方を構築する研究開発を実践する。

■生徒の学びと生活の質の向上

- 平素の授業のさらなる向上
- 生徒理解のさらなる深化
- 生徒の自ら学ぶ姿勢の向上

目指す生徒像

- ◎ 自主・自立の精神をふまえ、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成を目指して、教育を推進する
- 自らよく学びよく考え、責任をもって実践する生徒
- 礼儀正しく、誠実で思いやりの心をもつ生徒
- 心身ともに健康でこれからの社会で役に立つ生徒

一単位時間45分授業を生かすPDCA

授業の充実

☆平素の授業で 学ぶ力 を身に付けることが研究ベース

45分授業の充実

- ① 生徒の学習意欲が向上する授業
- ② 5分短縮した授業の工夫
- ③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現 → 対話活動の充実
- ④ 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現
- ⑤ 学習用情報端末 (iPad) や ICT機器の効果的な活用

生み出した時間の活用

- ① 「選択学習」の推進 → 「自ら学習内容を選択し、学習する力」の向上 (実施時間設定の改善)
- ② 授業研究の時間
- ③ 生徒理解の時間
- ④ 地域・外部機関との連携の時間
- ⑤ 職員会議・学年・校務分掌・研修の時間

校外連携体制

【横浜国立大学准教授 鈴木雅之先生 との研究連携】

- ① 目黒区教育委員会・年間講師による研究推進指導
- ② 東山中学校、目黒南中学校、目黒西中学校との研究体制の共有
- ③ 菅刈小学校・駒場小学校との5分短縮授業デザインの共有
- ④ 区内外中学校からの視察受け入れ、情報共有
- ⑤ コミュニティ・スクールによる情報共有
- ⑥ 地域、関連機関との学習・部活動サポート
- ⑦ ICT 関連機関とのキュビナ活用サポート

各学年の時数内訳

	1年	2年	3年
標準授業時数	1015	1015	1015
学校裁量	83	91	60
行事時数	47	47	47
総時数	1145	1153	1122

各学年の週当たりコマ数

1年	2年	3年
29	29	29

〔指導の重点〕

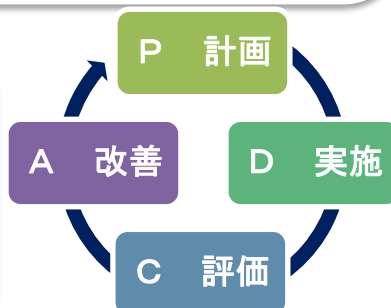
- 学習指導
  - ・授業規律の確立、教科教室等での授業ルールを徹底させ、学力の確実な定着を図る。
  - ・各教科45分授業を実施し、指導方法を工夫し、生徒の学習意欲を向上させる
- 生活指導
  - ・全教育活動を通して、基本的な生活習慣の定着を目指すとともに、人を思いやる心と生命尊重の精神を高め、主体的・意欲的な学校生活を送れるよう継続的な指導を行う。

〔午後の活用〕

- 生徒
  - ・部活動の自主的、協働的な活動。
  - ・芸術・運動・学問など教養を深めることや運動に取り組む活動
- 教職員
  - ・平素の授業の準備、教材研究
  - ・部活動指導
  - ・保護者・生徒・地域との連携
  - ・関連機関との事前打ち合わせ等

改善検討組織

研究運営担当による調査、検討を行い、研究実践の取組を次年度に継続させていく。



評価方法

- ① 学力調査 (目黒区学力調査)
- ② 研究アンケート (目黒区教育委員会と連携)
- ③ 学校評価 (コミュニティ・スクールと連携)

対象	評価指標	目標値
生徒	区学力調査	各項目標準値を3%上回る
	研究アンケート	肯定的意見80%以上
教員	四者評価	肯定的意見80%以上
	研究アンケート	肯定的意見80%以上
保護者	四者評価	肯定的意見80%以上
	研究アンケート	肯定的意見80%以上

研究体制

- ① 研究運営担当 (企画委員会メンバー) : 研究全般 (選択学習の内容、講師関連、発表準備、区教委連携等)
- ② 研究計画部 (教務主任、教務部、ICT部) : 研究計画の調整、データ集約、情報発信計画、地域連携計画
- ③ 選択学習調査部 (各学年担当) : 選択学習・45分授業の研究調査実施、考察、課題解決
- ④ 教科部 (各教科担当) : 45分授業の工夫考察、授業実践
- ⑤ 勤務調査部 (学校経営支援部・主幹教諭) : 働きやすさへの連結・研究考察

全学年

校時等	時間	月	火	水	木	金
登校時間	8:10~8:20					
朝読書	8:25~8:35					
朝学活	8:35~8:45					
1校時から4校時 (8:50~12:20) 20コマ						
給食	12:20~12:50					
昼休み	12:50~13:10					
5校時	13:15~14:00					
6校時	14:05~14:55					選択学習 30分
終学活	15:00~15:10 (選択学習~15:30)					選択学習 30分
清掃	15:10~15:20					終学活 15:40
下校	15:20					15:40
最終下校						17:30